

(社)甲府青年会議所2021年度

年間事業計画書(案)

未来の絆創造室	青少年の心育成委員会	委員長 浅川 貴明
---------	------------	-----------

1. 基本理念

魅力ある「山の都」の実現のため、青少年のしなやかで豊かな心を育むことで未来の担い手を育成する。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. 青少年の心育成事業 [70周年記念事業]	青少年が地域の魅力を活用した体験から協働の大切さを学び、挑戦を促すことで、柔軟で強い心を育成する事業を行う。	550,000 [150,000]	3月～10月
2. 5月例会 (第45回山の都親子 ふれあい写生大会)	子どもたちと家族がふれあいながら想像力を養い、思いやりの心を深める写生大会と表彰式を開催する。	800,000 [140,000]	5月～6月
3. 10月例会 (一歩前へ)	青少年が育成事業で学び得た心の成長を実感し、新たな挑戦に向けて目標を定める例会を開催する。	80,000	10月
予算合計		¥1,720,000	

年間事業計画書(案) 指摘・質問事項

未来の絆創造委員会	青少年の心育成委員会	委員長 浅川 貴明
-----------	------------	-----------

指摘・質問事項及び対応

[審査]第01回室長予定者会議

09月30日(水)

指摘・質問事項	対応
一年を通してどんな青少年を育成したいと考えていますか。	様々な実体験や、人と人とのふれあいを通じ、青少年自身の成長、また主体的に周り協力して物事を成し遂げる青少年に育成したいと考えます。
幅広い世代とはどんな世代であると考えていますか。	小学生から地域住民の方、保護者と考えます。
主体性やチャレンジ精神、意識向上と幅広い世代との関係性はなんですか。	青少年が主体的に大人たちとチャレンジや体感する事で共に成長すると考えております。
なぜ主体性や協調性の心が必要だと考えますか。	現代社会は情報化社会と言われ、インターネットやテレビ、新聞などの媒体を通して、誰もが簡単に情報を得ることができます。しかしそれらの情報は100%正しいとは限りません。そのため、自分自身で考えその情報が正しいかどうかを判断する必要があるため主体性が必要だと考えます。 また、多種多様な知識や経験、背景を持った人たちと関わることで自分や他者の魅力を認め、他者の価値観を尊重する事が大事だと考え、協調性が必要だと考えます。

[協議]第01回三役予定者会議

10月02日(金)

指摘・質問事項	対応
青少年心育成事業の事業内容の部分において、青少年に求める事が多いのではないのでしょうか。	「青少年が挑戦し続ける心を養うために、自ら行動し他者と協働することの大切さを実体験し、未来を担うリーダーとしての意識向上を図る事業を行う」と、変更しました。
山の都の魅力とは何だと考えますか。	食、自然、産業や歴史、文化など、多様性に満ちた魅力だと考えます。
なぜ挑戦という言葉を使ったのでしょうか。	物事に挑み冒険し、失敗を恐れずに挑戦をもたせることで意欲とエネルギーを持たせられると考えてます。
理事長所信の中で「私たち大人にとって青少年事業はなくてはならない」とあるが基本理念のどの部分に当てはまりますか。	「思いやりと挑戦する心を共に育むことで」とし、青少年だけでなく大人も共に成長していくという意味を込めて再考いたしました。
青少年の対象者は何歳を想定していますか。	幼稚園児から中学生と考えていますが、一番当てはまる所は小学校高学年だと考えてます。
基本理念の中に「未来を担う青少年」とありますが、理事長所信の記載文をそのまま使うのではなく、少しアレンジしてみてもいいのでしょうか。	青少年事業において、基本的な考えとして次世代を担うリーダー育成と考えていたためそのまま使わせていただきました。「未来を担うリーダー」と再考いたしました。

10月例会の副題を（一步前へ）とした経緯を教えてください。	事業を通じ成長し、さらに次の目標に向かって挑戦する心をもって欲しいと考えています。
-------------------------------	---

[協議]第02回理事予定者会議

10月07日（水）

指摘・質問事項	対応
事業内容の青少年が挑戦し続ける心を養うために自ら行動し他者と協働することの大切さを体験し、とありますが、どういったことを通じたテーマみたいなものがありますか。	テーマはありませんが、人を思いやり仲間と手を取りあい協力することや、力を合わせた活動をととても大切にしたいと考えてます。
挑戦する心と理事長所信の関係性をもう少し考えてみてください。	理事長所信にあります「実体験を通して、子どもたちの主体性や協調性を高める事業をおこない青少年の「心」を育成していく」の部分で、様々な実体験や挑戦することで主体性や協調性が生まれやすくなるのではないかと考えています。
基本理念の創成するということの意味はどのように考えてますか。	今あるものを大事にし、さらにもう一步、新しいものや新しいことを築き上げようと考えたからです。
思いやりと挑戦する心を選んだ意味は何ですか。	思いやりは想像力と考えています。想像力がないと相手の事を考えられず、結びつきを強くする子は出来ません。相手のことをよく考えるこそ思いやりなのかなというところで、思いやりの心とさせていただきます。挑戦する心は主体性や協調性を養うためには、まずは新しいことに挑戦する事が重要と考えています。
10月例会の事業目的で歩き続けると立ち止まらないとありますがほとんど同じ意味ではないのでしょうか。	「歩き続けると」という部分を「目標を定め」に修正させていただきました。

[審査]第02回室長予定者会議

10月12日（月）

指摘・質問事項	対応
10月例会の事業目的にある「目標を定め」とは、基本理念のどの部分に当たりますか。	基本理念にあります「次世代のリーダーを育成する」という部分に当てはまると考えます。目標をしっかりと定め行動する事で未来を担う青少年に成長すると考えます。
基本理念を含めた上で例会、事業を考えないと計画書と呼べないと思います。	基本理念を「人や物を通じて次世代のリーダーを育成し、魅力ある山の都に貢献する。」に変更し、例会、事業に関しても対応するように変更しました。
青少年事業の過去議案を確認したかと思いますが、どのような費用が予算として計上されていましたか。	事業にもよりますが、会場費、講師費、講師をお願いするのにあたり交通費、宿泊費、印刷費などがかかると予想しています。
事業、例会を通じて青少年が成長したと報告を上げるうえで次世代のリーダーはどう育成されたか説明する必要がありますが、どのようにしたら育成されたと言えるのでしょうか。委員長の考えを教えてください。	心の育成の部分では、数値などで計れなく難しいのですが、アンケートやヒアリングで参加者の感想を伺い、結果として報告したいと考えています。また、アンケート、ヒアリングの中で、参加者自身が次の目標をしっかりと定め、挑戦する心が芽生えたというような内容が書かれていると成果に繋がるのではないかと考えています。
「次世代のリーダーを育成とする」という部分で、理事長所信を照らし合わせた時にどう読み解きましたか。	より良い明るく魅力あふれる三市一町の未来を考えた時に、この山の都の担い手となるたくましいリーダー像を想像いたしました。

	青少年事業はそういった大人に成長して頂く手助けをし、明るい豊かな社会の実現を少しでも担えればと考えます。
青少年事業を通じて会員にどのようなメリットがありますか。	事業を通して自分たちが住む地域の魅力を再認識することや、青少年たちが発する一言一言の独創性を感じ、多様性を享受できます。青少年の成長を通して新たな視野を広げることができることだと考えます。

[協議]第02回三役予定者会議

10月16日(金)

指摘・質問事項	対応
基本理念の方が大きく変わりましたが何か心境の変化はあったのですか。	委員会を開催させていただいた時に年間事業計画書の中で皆様からの建設的なご意見を頂きましてそれらを反映させて頂きました。
青少年をどのように育成したいですか。	様々なことに挑戦していただく中で、主体性や協調性を養って頂き次世代のリーダーになっていただきたいと考えています。同時に青少年が成長し、進学や就職で故郷をはなれても心はいつでも故郷を思う気持ちという愛郷心を持てるような育成をしたいと考えています。
基本理念にあります「人や物」を通じてというのは誰のことですか。「物」とはどういう物ですか。	まず「人」というところでは、同世代の青少年や我々JC会員をはじめといたしますそこに住む地域の大人たちだと考えています。「物」というところでは事業の手法と考えました、皆で考えながら何かを作り上げたり、学んだりする事を物とあてはめてみましたが少し分かりにくい部分と感じましたので「魅力ある山の都の実現のため挑戦する心と愛郷心を育むことで次世代のリーダーを育成する」に変更いたしました。
10月例会「立ち止まらない気概」と書いてあるが立ち止まることはネガティブな表現だと思いますか。	立ち止まることは決して悪い事ではないと考えます。人生において一步下がる事もあると思いますがしかしそこで諦めることなく強い気持ちで目標に向かい進んで頂きたいと考えましたが、表現が分かりづらいという指摘を頂きましたので「新たな挑戦に向けて目標を定める」に変更いたしました。
最近(何年前)の青少年委員会の計画書を確認しましたか。また、印象に残った計画書はありますか。	2016年の前田委員長時代に自分の長女が事業に参加させて頂き、親として娘が楽しく参加して沢山の仲間を作って成長してきたことがとても印象に残りました。それが自分もJCに入る一つのきっかけになりました。
5W1Hで書いてあることは間違っていないと思いますが青少年というより地域・街づくり寄りの内容で、対象が高校生、大学生のように感じます。もう一度、理事長所信を確認し、青少年委員会で求められていることを考えて再考してください。	青少年の対象年齢や所信の内容をもう一度、委員会内で考え、5W1Hを変更しました。
委員長の考える青少年とは何歳から何歳までだと考えていますか。	小学生から中学生を想定しています。

[協議]第01回臨時三役会議

10月19日(月)

指摘・質問事項	対応
基本理念に記載されている「魅力ある山の都」とはどのようなイメージでしょうか。	地域の幅広い年齢層の人たちが、地域に点在する問題や地域の活性化に対して積極的に意見を述べ、取り組む姿だと考えています。

子どもたちになってもらいたい次世代のリーダー象を教えてください。	山の都のトップリーダーを育むのではなく、子どもたちの主観で、それぞれの立場や状況において、挑戦することによって一歩を踏み出し、家庭内、学びの中、地域の中など様々な場面でのリーダーになっていただきたいと考えています。
「魅力ある山の都の実現」に向けてのストーリーを教えてください。	事業を通じて挑戦する心と愛郷心を持って頂き、次なる目標に向けて歩き続けてもらう事で、次世代のリーダーになって頂きたいと考えています。これはよりよい魅力ある山の都につながって行くものと考えます。
魅力ある山の都と、次世代のリーダーの育成で、どちらをに育成していきたいのでしょうか。	まずは次世代のリーダーの育成だと思っています。その結果、将来の魅力ある山の都に繋がってくると考えます。
基本理念の「愛郷心を育む」の部分でどこの事業、例会にあてはまりますか。	青少年の心育成事業だと思っています。青少年の様々な心を育成する中で地域の魅力を再認識し、愛郷心を育んで行きたいと考えています。
愛郷心を養える事業内容がどこにも見当たらないので検討してください。	青少年育成事業の事業目的を「青少年が挑戦する心を実体験することで協調性や主体性を高め、ふるさとの魅力を共に感じながら成長する事業を行う。」に変更いたしました。
5月例会の事業内容に「子どもたちが家族とふれあう」とありますが「子どもたちと家族がふれあう」ではないでしょうか。	事業目的を「子どもたちと家族がふれあいながら感性を養い、思いやりの心を深める写生大会と表彰式を開催する。」に修正いたしました。
基本理念に関して、「魅力ある山の都の実現」からトーンダウンしていくように感じます。「次世代のリーダーを育成する」部分と入れ替えてみてはどうでしょうか。	文言を入れ替えた結果、文章の並びを考えると「魅力ある山の都の実現」を最後に配置することで読みやすくなる一方、次世代のリーダーを育成することが当委員会の使命であると協調したいという想いがありましたので「次世代のリーダーを育成する」を文末に配置しました。

[協議] 第03回理事予定者会議

10月23日(金)

指摘・質問事項	対応
ふるさとの魅力とはどのようなものと考えていますか。	食、自然、産業や歴史、文化など目に見える物や、無尽文化などに代表される様々な人との横のつながりの深さやなどが魅力的だと考えます。
5月例会において家族との関わり合いはどのように表現したいと考えていますか。	屋外で被写体を前に写生をするという非日常を体験するとともに家族とふれあいながら家族愛を深めていただきたいです。 また、多様性を理解できる設えや、物事を心に深く感じ取れるような感性を豊かにできる設えを組み込んでいきたいと考えています。
1年間を通してどのような青少年になってもらいたいと考えていますか。一言で表すことはできますか。	しなやかで豊かな心をもった青少年です。
次世代のリーダーなど、リーダーが多数記載されております。具体的にはどのようなリーダーをイメージしていますか。	地域のトップリーダーを育成するのではなく、家庭内でのリーダー、学びの場でのリーダー、遊びの場でのリーダーが次世代のリーダーであると考えています。しっかりと子どもと向き合い、良い行いは褒め称え、間違いは正しく教えてあげれる事、また地域の事に対しても率先して行動してくれる大人になることがリーダーだと思っています。 自分の子どもに対してはもちろんですが、地域の子どもに対しても同じだと考えます。

挑戦する心において、協調性はどこにかかってきておりますか。	目標をしっかり定め皆で考え行動し、やり遂げることに協調性という部分がかかってくるのだと考えています。しかしながら、理事長所信との整合性を考え、しなやかで豊かな心に変更いたしました。
今の子どもたちになぜこの事業が必要だと考えますか。	「百聞は一見に如かず」という言葉があるように学校や家庭ではなかなか出来ないようなことを実体験させてあげる事で、様々な独創性や想像力を養える事が青少年の成長の糧になると考えたためです。
青少年事業を募集すると、毎年同じような顔ぶれとなりがちです。幅広い地域、世代からリーダーを育成してほしいと考えます。	色々な場所にポスターを張らせて頂き、様々な人に目が行き届く様にしていきたいと考えています。
実体験をどのように挑戦する心と結びつけていますか。「ともに」という箇所とともにわかりやすく表現してほしいです。	最後まで粘り強く諦めない心を実体験から学んでほしいと考えました。しかしながら、理事長所信との整合性を考え、事業目的を「青少年が主体性や協調性を実体験から学び、ふるさとの魅力を感じながら「心」を育成する事業を行う。」に変更いたしました。
愛郷心はなぜ必要だと考えますか。	愛郷心をもつ事で、自ら率先して地域の課題解決や日々の取り組みをより良くしていこうという想いを持てると考えたためです。
目標と夢の違いをどのように考えていますか。	たくさんの目標が重なることで自分の願望の最終目的地に繋がると考え、これが夢だと解釈しています。目標はその過程だと考えています。
青少年たちと関わることで大人たちはどのような学びがありますか。	私たち会員も子育て世代です。地域の青少年の成長を実感し、ともに学ぶことで自分の子どもを育成する過程で反映できると考えます。また、そこで育まれた独創的な学びに触れることで、私たち大人にとっても新たな気づきとなると考えます。

[協議] 第04回合同三役会議

10月27日(火)

指摘・質問事項	対応
5月例会写生大会は73万と予算が決まっているはずですが、なぜ80万円なのでしょう。	来年もラッピングバスを考えているため、その費用として80万にあげた金額を計上しました。
今年は73万の中で行ったと思いますが何故でしょうか。	施工業者との話の中で今年のように出来ないというお話をいただいていますので金額を上げて計上させていただきました。
そもそも80万に上げることができるのか確認してください。	確認いたします。
実体験から学ぶ際には触れ合うことが多くなるかと思いますが、コロナのことでどのように考えていますか。	現在、屋外での距離を保った活動でクラスター感染は確認されておりません。個々に守らなければならないルールはあるかと思いますが、対面による事業を考えています。
「しなやかで豊かな心」というのはどんな心か教えてください。	自他を敬愛する心、粘り強く最後まであきらめない心だと考えています。
「しなやかな心」が自他敬愛の心と諦めない心だとした時に青少年事業や写生大会がつながるように思えます。事業・例会がどのように「しなやかな心」につながるのか教えてください。	まずは青少年事業を通じて協働する心や利他の心を養っていただきたと思います。写生大会では他者の作品を認め合いながら思いやりの心を育んでいきます。そうした様々な心を養うことで柔軟で粘り強い心につながると考えます。

[協議]2020年度 第13回理事会

11月02日(月)

指摘・質問事項	対応
「しなやかで豊かな心」というのはどんな心か教えてください。	自他を敬愛する心、粘り強く最後まであきらめない心だと考えています。
「しなやかな心」が自他敬愛の心と諦めない心だとした時に青少年事業や写生大会がつながるように思えます。事業・例会がどのように「しなやかな心」につながるのか教えてください。	まずは青少年事業を通じて協働する心や利他の心を養っていただきと思います。写生大会では他者の作品を認め合いながら思いやりの心を育んでいきます。そうした様々な心を養うことで柔軟で粘り強い心につながると考えます。

[審査]第03回室長予定者会議

11月04日(水)

指摘・質問事項	対応
基本理念、事業目的に色々な心という字があるが使い分けて理由があるのですか。 育成した心が最終的に基本理念に繋がってくるような説明がほしいです。	しなやかで豊かな心を育む事は、「共働の心」と「粘り強く諦めない心」の2つであると考えています。そのしなやかで豊かな心は、学力・身体能力・生きる力といった、あらゆる力の礎となります。その礎は後に魅力ある山の都の担うリーダーとして発揮してくれると考えています。
事業目的で「心」を推してくるが「次世代のリーダー」育成する過程が見えづらくなっている。 基本理念の「次世代のリーダー」を育成する事は変わりませんか。 心を育成する上で「次世代のリーダー」という文字を入れる事で混乱したりしませんか。	次世代のリーダーを育成する事には変更ございません。事業を通じて育成する過程の中で、子ども達に主体性と協調性を高めることで「心」の育成につながると思っております。 つまり、心の育成する事により次世代のリーダーを育成につながることで、私たちが目指す「明るい豊かな社会」の実現に近づけることができるとかんと考えております。
しなやかで豊かな心とは委員長の中でどのような考えでしょうか。	柔軟で最後まで諦めない心、また他者を思いやる心です。

[審議]第03回三役予定者会議

11月09日(月)

指摘・質問事項	対応
5月例会ではどのような感性を養いたいのですか。	他者との違いを認め協働する心を養っていきたいと考えています。
基本理念「しなやかで豊かな心」の定義はなんですか。	困難や挫折に直面しても最後まで諦めない心、他者との違いを認め協働する心と定義しております。
諦めない心、自他敬愛の心はどこの事業で育むのですか。	通年事業を通じて、諦めない心を育成したいと思います。また、あらゆる世代とのふれあいの中で思いやりの心を育む事で自他敬愛の心が養われていくと考えています。
5月例会で自他を敬愛する心を育むのか。	自分や他者との多様な考え方、存在を認め合う柔軟な心で自他敬愛の心が養われてくると思います。
10月例会の会員の関わり方をざっくり説明してください。	一歩を踏み出すお手伝いと、大人が見守ることで子供たちの成長を見届ける事だと考えます。

それぞれの事業ではこういった心を育成するのですか。	通年事業では最後まで諦めない心、5月例会では他者との違いを認め協働する心、10月例会では新たな挑戦に目標を定める事ができればしなやかで豊かな心が育めたのではないかと考えています。
---------------------------	---

[審議] 第04回理事予定者会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

[審議] 第XX回合同三役会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

[審議] 2020年度第XX回理事会

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応